

キャンパスから飛び出す「サロン de 人権」です！
ぜひご参加ください！

日常の中にある部落差別を考える
—北芝地域のまちづくり実践を学ぶ現地学習と展示見学
（「マイクロアグレッションってなに？」）

実施日：11月24日（日）13：00～16：00

集合時間：13：00

集合場所：らいとぴあ21（箕面市萱野中央人権文化センター）

箕面市萱野1丁目19-4

北大阪急行「箕面萱野駅」下車、徒歩10分

定員：20名 事前申込・先着順

※なお施設でのパネル展示期間が変更になり、パネル見学ができなくなる可能性があります。

参加希望者は人権問題研究センターのホームページお問い合わせフォームより

11月5日（火）までにお申し込みください。

折り返し参加に必要な情報をお知らせします。

（<https://www.omu.ac.jp/orp/rchr/contact/>）

定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

お問い合わせはセンターまで <https://www.omu.ac.jp/orp/rchr/>

無料

箕面市・北芝地域では、部落解放運動への長年の取り組みを土台に、1990年代から地域内外の住民による参加型のまちづくりに取り組み、さらに2001年には、まちづくりに取り組む個人や団体・グループを支援するための「中間団体」であるNPO法人「暮らしづくりネットワーク北芝」を立ち上げました。「誰もが安心して住み続けることのできる地域」づくりを目指して地域から生まれた活動・事業は、まちかどデイ、放課後デイ、駄菓子屋、おそうざいデリ、朝市、地域通貨、まなびカフェ…など数え切れません。北芝地域のまちづくりの取組をお話とフィールドワークから学びます。

また、「らいとぴあ21」（箕面市立萱野中央人権文化センター）では、展示「マイクロアグレッションってなに？」を行っていますので、併せて見学します。これは2023年夏に福岡県人権啓発情報センターで行われた特別展「日常の中のなかにある部落差別—マイクロアグレッションってなに？」のパネル展示です。マジョリティが「無意識に」「悪意なく（悪意の自覚なく）」行う日常の言動に、思い込みや偏見が現れることを指します。部落差別におけるマイクロアグレッションと、そうした言動にさらされた当事者は、どう感じているのか、事実や経験に基づいてパネルがまとめられています。

参考：特定非営利 暮らしづくりネットワーク 北芝 <https://www.kitashiba.org/>